

## 韓国大学生訪日団（第1～2団）招へい事業の記録

### 1. プログラム概要

【目的】「対日理解促進交流プログラム(JENESYS)」の一環として、韓国全土から選抜された大学生等を招へいし、テーマ「日本の平和への取り組みと日韓交流」の下、各種視察、学校訪問、講義聴講等を通じて、日本に対する理解を深めることで、今後の日韓間の相互理解と信頼関係増進の基盤強化に寄与することを主目的とする。

【参加者】 プレプログラム（オンラインによる事前学習） 韓国の大学生等 80 名  
招へいプログラム 韓国の大学生等 80 名

【訪問地】 プレプログラム 東京都 80 名  
招へいプログラム 東京都、神奈川県、長崎県、佐賀県、福岡県 80 名

#### 【日程】

##### ■ プレプログラム（オンライン事前学習）：

5月27日（土） オリエンテーション（プログラム説明）、参加者による対外発信

##### ■ 招へいプログラム：

6月25日（日） 成田国際空港より入国、来日時オリエンテーション

6月26日（月） 【講義聴講】「最近の日韓関係について」

【表敬】駐日韓国大使館韓国文化院

【視察】李秀賢氏追悼・顕彰碑含む新大久保フィールドワーク

6月27日（火） 【学校訪問・交流】（第1団）フェリス女学院大学、（第2団）昭和女子大学、  
長崎県へ移動

6月28日（水） 【表敬・講義・視察】長崎県庁「長崎県の平和への取り組みと韓国との交流について」、

【視察】長崎原爆資料館、【講義聴講】被爆体験講話

【視察】韓国人原爆犠牲者慰霊碑、平和公園

6月29日（木） 【学校訪問・交流】（第1団）長崎大学、（第2団）長崎外国語大学

6月30日（金） 佐賀県へ移動、【視察】陶山神社、名護屋城博物館・特別史跡「名護屋城跡並びに陣跡」、福岡県へ移動、成果報告会（訪日成果・帰国後の活動計画発表）

7月1日（土） 福岡空港より出国

## 2. 記録写真



2023年6月26日【講義聴講】  
「最近の日韓関係について」



2023年6月27日【学校訪問・交流】  
フェリス女学院大学



2023年6月27日【学校訪問・交流】  
昭和女子大学



2023年6月28日【講義】長崎県庁  
「長崎県の平和への取り組みと韓国との交流について」



2023年6月28日【視察】  
長崎原爆資料館



2023年6月28日【講義】  
被爆体験講話



2023年6月29日【学校訪問・交流】  
長崎大学



2023年6月29日【学校訪問・交流】  
長崎外国語大学



2023年6月30日【視察】  
名護屋城博物館・特別史跡「名護屋城跡並びに陣跡」



2023年6月30日【成果報告会】

### 3. 参加者の感想（抜粋）

#### ◆ 韓国 大学生

日韓関係に関する講義では、韓国と日本の地理的特徴による意識の差について学ぶことができた。さまざまな日韓関係の中でお互いに立場が違うことに対して理解を深めることができる有意義な時間だった。

#### ◆ 韓国 大学生

日本の学生と1つのテーマについて討論して内容を共有し、発表した経験はそれそのものが意味のあるものだと思う。お互いに違う環境の中で育ち、それぞれの文化を作り、その文化を共有できた点がとても印象に残った。

#### ◆ 韓国 大学生

日本の大学生と交流して一番驚いた点は日本の学生がみんなとても韓国語が上手だということだ

った。当然、日本語でコミュニケーションしなくてはいけないと思っていたが、韓国語がとても上手で2つの言語を混ぜながら話をする事ができた。今回、日本の大学を初めて訪問したが、大学の自習スペースの雰囲気がとてもよかった。今後、日本に交換留学で来たら、こんな場所で勉強してみたいと思った。

#### ◆ 韓国 大学生

長崎原爆資料館を訪問し、1945年当時の被害の規模や原子爆弾の大きさを体感することができた。13歳で被爆された丸田和男さんの講演を聞き、現場はもっとすさまじく恐ろしいものであっただろうと思った。近くにある平和公園も見学し、現在まで続いている哀悼の波と平和への思いを感じた。

#### ◆ 韓国 大学生

原爆資料館で原爆が投下される前の状況と被害状況に関する資料を見て、原爆の残酷な実像について知ることができた。中学生のときに被爆した方の被爆体験講話を聞いて、人類の歴史上で二度と原爆が使用されてはならないと思った。

### 4. 受入れ側の感想（抜粋）

#### ◆ 講義担当講師

日本と韓国は互いによく似た文化の国ですが、異なる点もあります。似ているだけに、異なる点まで自分の観点から評価しがちですが、両国で意見の違いがあるときも同様です。互いに自分の観点だけで主張しているだけでは噛み合いません。相手の考え方を知った上で主張することが必要です。そして、ただ頭で「知る」だけでなく、具体的な経験などを通じて「分かること」が大切です。訪日の経験は「生の日本」を分かることへの第一歩になったと思います。ぜひこの経験を活かしてほしいです。

#### ◆ 長崎県庁関係者

長崎県は日本の中で最も韓国と近く、昔から交流を進めてきました。日本が海外との交流を制限していた17世紀、18世紀の頃にも長崎県の対馬だけは韓国に開かれた窓口として朝鮮通信使を迎え入れており、現在は日韓交流イベントなどの交流が活発に行われています。今回の訪問をきっかけとし、日本と韓国が良き隣人として、良きパートナーとして活発な交流が続いていくことを願っております。

#### ◆ 大学訪問先関係者

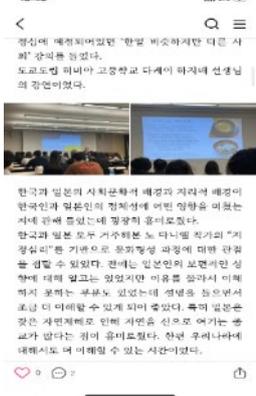
日本と朝鮮半島の間にはこれまで不幸な歴史もありましたが、今後はそのようなことがないよう偏見や差別をなくし、対等なパートナーとして友好的関係を築いていきたいと願っています。そのための土台として、若い人たちの相互理解と交流が必要だと信じています。

#### ◆ 大学訪問先学生

旅行では何度か韓国を訪れたことがありますが、このように韓国の方と長く話をする事はなかったので、とても貴重な経験となったし、語学学習のモチベーションにもなりました。文化は違っ

ても同世代でお互いに同じような趣味や悩みを持っていて、すぐに仲良くなることができました。直接交流をしてみて、人種や国籍は関係ないことが実感できました。

### 5. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事等

	
<p>2023年6月26日 (NAVER Blog)</p> <p>韓国と日本の社会文化的背景と地理的背景が韓国人と日本人のアイデンティティにどのような影響を及ぼしているかについて興味深くお話を伺った。これまでは日本人の気質について知ってはいたものの、理由が分からずに理解できない部分があったが、講義を聞いて理解することができた。</p>	<p>2023年6月26日 (NAVER Blog)</p> <p>李秀賢さんは 2001 年に新大久保で線路に落ちた人を救おうと帰らぬ人となった。その後、両国友好の象徴的な人物として今日も彼を記憶する多くの日本人がいる。彼の勇敢さと善良な精神を私も学びたいと思う。</p>
	
<p>2023年6月28日 (instagram)</p> <p>被爆者の方から被爆体験講話を聞いたが、被爆体験が生々しく語られた。最初はメモをしながら聞いていたが、だんだんメモすることができなくなった。メモをするにはあまりにも心が痛かったためだ。長崎が世界平和を訴える理由が理解できた。長崎が最後の被爆地となることを</p>	<p>2023年6月28日 (instagram)</p> <p>戦争の惨状がそのまま表れている場所・・・見学しながら現在の残忍な戦争が思い浮かんできて考えることが多かった。なぜ長崎の人々がそれほど戦争に反対するのか理解できる貴重な機会。広島と長崎に投下された原子爆弾の被害が甚大なものであったと言葉では聞いていたが、</p>

願っている。

実際に見てみると全く違った。一人の人の人生を狂わせてしまう戦争という惨状。二度と起きてはならないし、平和が維持されるよう最善を尽くさなくてはならないと思った。



**被爆者の声に触れる 韓国の大学生80人、長崎訪問 / 長崎**

毎日新聞 | 2023/7/1 地方版 有料記事 354文字



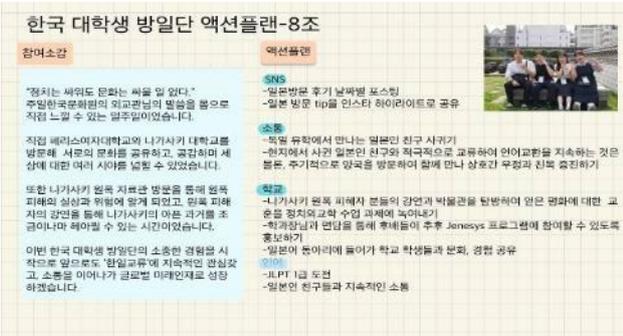
韓国の大学生約80人が、長崎市の原爆資料館や韓国原爆犠牲者慰霊碑を訪れ、被爆者から体験を聞いた。外務省の「対日理解促進交流プログラム」の一環で、新型コロナウイルス禍を挟み、訪問は2019年以来4年ぶり。

資料館で原爆の標記や被害を示すパネルを見学した後、13歳で被爆した丸田和男さん(91)の講話を、通訳を交えて約45分間聞いた。母を亡くし、自身も家屋の下敷きになって背中だけをした丸田さんの体験談に、学生らはメモを取ったり、うなずいたりしながら耳を傾けた。

2023年6月28日 (NHK)  
「文化交流の韓国の大学生 原爆被害について理解深める」 原爆資料館視察、被爆体験講話の様子を紹介。

2023年7月1日 (毎日新聞)  
「被爆者の声に触れる 韓国の大学生 80人、長崎訪問」 被爆体験講話の様子を紹介。

**6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表**  
(訪問地：東京都、神奈川県、長崎県、佐賀県、福岡県)



**2023 JENESYS 한국 대학생단 방일연수 (2단 14주)**

**'방일연수 참여소감'**

방일연수교육을 JENESYS 방일연수로 맞게 진행하여 7일간 유익한 시간을 보냈습니다. 인상 있었던 3가지 활동 소감을 공유하고자 합니다.

**첫 번째.** 방일: 예상치 못한 다른 나라의 강의를 들으며 알찬 시사, 문화적 배경에 대해 배울 수 있었고, 타국 문화를 배우기 위해서는 **우리 문화부터 먼저 알고 설명할 줄 아는 사람**이 되어야겠다고 생각했습니다.

**두 번째.** 나가사키 평화 자료관 방문과 야마다 기즈코 씨의 피폭 체험담을 통해 민족 편애 사상에 대해 생각해 알게 되었습니다. 또한 일본 학생들과의 교류를 통해 **일본 문화**를 알 수 있었고, 무엇보다도 **교류**는 **우리의 문화**를 알 수 있는 기회가 되었습니다.

**마지막으로.** **소통**이 **소통**이 생긴 것이 감사했습니다. 소외 언어라고, 나가사키 외국어 대학교 방문을 통해 한국의 문화를 대해 이해할 수 있었고, 이번 연수를 할 때 방일단 친구들과 즐거운 추억을 만들 수 있어 행복하고 보람 있는 시간이었습니다.

이번 프로그램으로 얻은 경험을 바탕으로 앞으로의 **행동 계획**에 조금이라도 힘을 쏟고 싶습니다. 좋은 기회를 마련해 주신 국공립대학교인 방일연수교육기관 관계자분께 감사의 뜻을 전합니다. 감사합니다.♥

**+장기계획** 일본에서 학교 다니고 근무하기 / 일본으로 교환학생 가기

**【訪日中の学び】**  
実際に大学訪問をしてみても互いの文化を共有し、共感することによって視野を広げることができた。

**【テーマに関する訪日中の発表】**  
長崎原爆資料館を訪問して原爆被害の実相や危険性について学び、被爆体験者講話を通じて長崎の辛い過去を感じ取ることができた時間となった。

**【訪日中の学び】**  
日本の社会文化的背景について学び、他国の文化を学ぶためには、まず自国の文化を説明できる人にならなければならないと思った。

**【テーマに関する訪日中の発表】**  
長崎原爆資料館訪問と被爆体験講話を通じて、今後このような悲しい歴史を繰り返さないために何ができるだろうかを考えるきっかけとなった。

<p>【アクション・プラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本で出会った日本人の友達とランゲージエクスチェンジを続け、定期的にお互いの国を訪問して親睦を深める。</li> <li>・被爆体験講話や資料館視察で学んだ教訓を所属大学の政治外交学の授業課題に取り組む際に生かす。</li> <li>・大学の日本語サークルに加入して日本語の学習を続ける。</li> </ul>	<p>【アクション・プラン】</p> <p>両国の関係改善の力になれるよう、まずは今回の訪日の写真を活用したSNSアップロードや訪問機関に関する記事を作成する。その後も日本語の学習を継続するとともに日本への交換留学制度や交換教員制度について調べ、9月にはJLPTに挑戦する。また、韓国に留学予定の日本人学生との交流を続ける。</p>
--	--

実施団体名：公益財団法人日韓文化交流基金